

# 就労支援サービスの支援力向上のための研修

一般社団法人 サステイナブル・サポート

〒500-8175 岐阜県岐阜市長住町 2 丁目 7 番 アーバンフロントビル 3 階

## 助成事業の概要

精神障害や発達障害のある人、若者、多様な働きづらさのある人の就労支援に従事する事業所の職員や地域の支援者が、業務に関連する知識を深め、支援に活かすことを目的として、本年度は次のとおり 7 回の研修会を開催しました。

■2023 年 5 月：障害者虐待防止・権利擁護（サテライトクロス：絹谷栄策氏）

■2023 年 6 月：発達障害のある女性の理解と支援（岐阜大学医学教育開発研究センター：川上ちひろ氏）

■2023 年 7 月：事例検討会（いかわクリニック：井川典克氏）

■2023 年 8 月：障害者雇用ビジネスについて考える（千葉障害者就業支援キャリアセンター：藤尾健二氏）

■2023 年 11 月：インクルーシブ教育から考える、インクルーシブな社会とは（社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会：加藤永歳氏）

■2024 年 2 月：事例検討会（いかわクリニック：井川典克氏）

■2024 年 3 月：メニコネクト郡上工場が模索する支援機関との連携について（(株)メニコネクト・ジョブコーチ：加藤文昂氏）

## 事業の成果

当団体は主に精神障害者・発達障害者の就労支援を行っております。まだまだ地域には支援につながれず取り残されている層がいると感じてお

り、支援の幅を広げるため職員数も増えております。現場で業務にあたる職員の育成と質の向上のため、これまでも貴財団からの助成のもと開催した研修の過去資料等を存分に活用させて頂いてまいりました。本年度は職員の支援力を底上げすると同時に、地域の支援力向上を図るための研修を実施しました。5 月にコロナが 5 類となり、感染対策を十分に行った上で、研修のほとんどを対面でおこないました。

6 月・8 月・11 月・3 月には、支援を必要とする一人ひとりの多様なニーズに対応するため、地域の支援者・支援機関向けの公開研修会を実施しました。6 月は女性の発達障害の特性やその課題、8 月は障害者雇用ビジネス、11 月は障害のある子とない子が共に学ぶインクルーシブ教育、3 月は障害者雇用に取り組んでいる企業と支援機関との連携をテーマに取り上げ、より幅広い知識・支援技術を習得することに役立ちました。これらのテーマは、日々当団体で支援を行う中で感じている課題から選定しました。また、当団体が主催して学ぶ場を定期開催し公開することで、地域の支援関係者の知識や支援技術が向上し、新たに支援機関・支援者同士の横のつながりができました。

5 月・7 月・2 月には、障害者虐待防止・権利擁護についての再認識を行うとともに、現場の事例を持ち寄り全員で支援のあり方を検討する研修会を実施しました。専門家からの意見を聞き、その場に参加する他の支援者と広く意見を交換することで、各自がそれまで気づかなかった支援の道筋を知る機会となりました。また、支援者が問

題・課題を抱え込むことを回避することにもつながりました。

当団体の職員だけでなく、より多くの地域の支援者に研修の機会を設けられたことは大変有意義なこととなりました。

## ■ 成果の広報・公表

---

公開研修の内容を当団体が発行する会報誌「SS JOURNAL」に掲載し、約 300 か所の関係機関に送付しました。また、当団体公式サイト、SNS を通して、幅広く報告しました。

研修で使用した資料・映像についてはデータで管理することによって、既存の職員が内容の再確認をできるようにするとともに、今後入職する職員も学べるようにしました。研修に参加した職員全員がデータで感想文を提出し、共有できるようにしました。

## ■ 今後の展開

---

当団体は、さまざまな理由で働くことに不安がある人の支援をおこなっています。

地域で暮らす障害者や働きづらさを抱えている方すべてを当団体で支援することは困難であり、様々な支援機関・医療機関など、地域一体となって支援を行う必要があります。

地域においてよりスムーズかつ深い支援の連携ができるようになれば、当事者の症状・環境・ライフステージ等にあわせ、それぞれの強みを活かした適切な支援の提供が可能になります。

また、支援者にとっては、自分の所属する施設、団体の支援に捉われるのではなく、支援の幅を広げる一助となります。

当団体では今後も地域の支援者とともに学びを深めていけるよう、研鑽の機会を設けたいと考えております。